

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-68

学校名・団体名	志摩市立浜島小学校
HPアドレス	なし
コース	学校支援
活動・研究テーマ	「開かれた学校」づくりに地域の教育力を生かす

〈活動・研究の意義、目的〉

- ① 本校は豊かな自然環境に恵まれ、保護者や地域も学校教育に対して理解が深く、協力的であるので地域の教育力を生かした学校運営を積極的に推進することができる。
- ② 地域の方に学校の教育活動に多様な形で参加していただくことで、地域の方々のふるさとを愛する心にふれ、ふるさとに対して誇りを持つことができる。
- ③ 子どもとのふれあいを通して、地域の方々ともあたたかい人間関係が構築され、学校教育への理解を深め、地域の学校として「浜島っ子は浜島で育てる」という意識を持つことができる。
- ④ 保護者や地域、そして学校が協働体制を充実したものにし、開かれた特色ある学校づくりをより質の高いものとするすることができる。

<活動・研究報告> (時期、内容、成果や子どもたちへの効果などを記入。A4用紙1~2枚でおまとめください。)

◎活動の概要や成果・・・生活科、総合的な学習の時間、各教科、特別活動を通して

【3年】

実施日	講師等	活動の成果
5月17日	南張探検 講師・・・川口芳幸さん	浜島の農業体験でメロン栽培を見学し、その苦労や栽培について聞き、地元の農業について知ることができた。
6月23日	桧山路探検 講師・・・谷水吉宏さん	先長塚や江月寺を訪れ、その歴史を知ることができた。
10月19日	栽培漁業センター 講師・・・センター職員	三重県栽培漁業センターを訪問し、ヒラメや稚貝の養殖について学び、地域の産業である水産業を学び、水産業に興味を持った。
10月3日	浜島東探検 講師・・・横山さん	宇気比神社や鼻かけえびすなどを訪れ、その歴史を知り、地域について理解を深めた。
2月28日	老人クラブの方々と	老人クラブの方々と竹とんぼや水鉄砲など昔の遊び道具を一緒に作ったり遊んだりして、昔の遊びや生活について教えてもらい、浜島の人や暮らしを知ることができた。

【4年】

5月24日	てこね寿司作り 講師 岩崎博光さん	志摩の名産であるかつおを使った「てこね寿司」を作る体験を通して、ふるさとに誇りを持つことができた。
10月17日	「海ほおずき」体験	地域の施設で干物づくりを体験し、漁業の暮らしや文化を学び、地域の産業を知ることができた。

【5年】

4月27日	学校田での米作り 講師・・・谷水吉宏さん	谷口さんの指導のもと田植えを行った。米作りのやり方や苦労を知り、米作りについてよく分かった。
9月5日	稲刈り 講師・・・谷口吉宏さん	稲刈りをした。米つくりの苦労や工夫を知り、収穫の喜びを味わうことができた。新米で作ったおにぎりをいただいた。
11月22日	料理教室 講師・・・田中睦美さん他	自分たちが収穫した米や地域の食材を用いて、料理し、「地産地消」について知り、その料理の仕方も学んだ。

【その他】

6月21日11月14日2月8日(全校)	ストーリーテリング 講師・深津志津子さん	ストーリーテリングをしていただいた。とても楽しく集中して聴いた。読書の楽しさを知り、進んで読書するきっかけとなった。
6月18日(全校)	運動会	運動会に老人会の方々と地域の方々を招き、一緒に競技した。1・2年生と老人会の方々と一緒に玉入れをし交流を深めた。
6月13日	えび祭りへの参加 じゃこっぺ踊り練習会 講師・・・田中睦美さん	地域の伝統的な祭り「伊勢えび祭」の囃子方として参加したり、「道中じゃこっぺ踊り」に参加し、地域の良さを知ることができた。またその踊りの指導に来ていただき、交流が持てた。
6月21日・28日(6年・3年)	陶芸教室 講師・・・堀尾兵蔵さん他	地元、陶芸家のグループの方々に指導していただき、自分のオリジナルな作品を制作した。素敵な作品ができあがった。
11月15日(6年)	社会福祉施設訪問 さくら苑	合唱や「浜小ソーラン」を披露したり、一緒に体操したりしながら入所者と交流した。相手の気持ちになって考えたり、高齢者とのかかわり方を学んだ。
2月25日(全校)	6年生を送る会(学習発表会)	これまでお世話になった方々や保護者を招き、自分たちが学習してきたことを発表した。自分たちの活動がたくさんの人々によって支えられていることに気づくことができた。

3. 活動のまとめ

- ・地域の人材を講師として招き、直接子どもとふれあう活動を積み重ねることにより、地域の産業や文化を知り、地域を誇りに思う気持ちが強くなった。また、講師の方々の人柄や生き方に学ぶこともできた。
- ・地域の様々な団体(老人クラブ、食改善協議会、老人施設の方々等)との連携を生かすことで、子ども達の活動が広がった。また、学校教育活動への協力(支援)や理解も得られた。
- ・自然や施設、人材を生かしたこの地域でしかできない体験活動を行うことで、子どもだけでなく教師自身も地域の良さが実感できた。また、地域の人々との交流は子どもを取り巻く良い人的環境を作ることとなった。